

グローバル化と科学技術

私が学生だった20年前は、東西冷戦の末期。携帯電話もインターネットもない時代からは想像もできない世界が今広がっています。冷戦終結後の市場の急速な拡大、資本取引や投資の自由化、IT技術の進展などによりグローバル化が進み、ヒト、モノ、カネ、情報がかつてないスピードで世界をめぐる時代。負の側面もありますが、グローバル化は開発途上国にとって自国の限界を補い、発展のチャンスにもなっています。

大きな変化は、カネ(資本)の希少性の低下。日本をはじめ先進各国で金利低下とカネ余りの状況が生じ、利潤機会を求め資本が世界中の技術や知識、情報を追いかけています。これは、国内での資本蓄積が十分ではない途上国にとって大きなチャンスです。どれだけ有用な技術や知識を持っているかが重要な時代。これらの発展を支えるものは教育です。科学技術教育や高等教育は新しい時代の「開発」に大きな意味を持っています。

もう一つの変化は人と人のつながり(情報流通)です。IT技術の進歩により、従来の職場、学校、地域(国家)といった物理的な境界を持った階層的な社会を超えてネットワーク化された、水平的な社会が大きな力を持つようになりました。途上国もこの開かれた直接的なネットワーク社会へのアクセスにより、既存の組織・権威に依存しない新たな発展の可能性が出てきています。

今月号の特集「科学技術系高等教育」は、現代社会を生き抜くために必要な技術、知識、情報を提供する基盤です。新しい時代には開発の世界でも新しい処方箋が必要ですが、グローバル化した世界では、途上国も日本も、組織も個人も条件は同じ。私も想像もできなかった世界についていかななくては。

広報室報道課長 中井完造

本誌へのご意見・ご感想や
JICAへのご質問を
お寄せください。

プレゼント
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2010年11月15日

Email: jica@idj.co.jp
FAX: 03-3582-5745 (『JICA's World』編集部宛)

- ① ベトナム・ゼン村のノンとヤシの葉の小物セット
- ② 書籍『13歳からの平和教室』(p30参照)
- ③ 書籍『当たって、砕けるな! 青年海外協力隊の流儀』(p30参照)



①



②



③

本誌をご希望の場合は
下記方法で
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形でご送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払ください。入金確認後、発送手配をいたします(入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください)。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行)
住所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル
TEL 03-3584-2191
FAX 03-3582-5745
Email order@idj.co.jp



次号予告 (2010年11月1日発行予定)

カイゼン

品質・生産性向上のための「日本独自」の理論・手法である「カイゼン」を生かしたJICAの協力事例を紹介します。

訂正とお詫び：2010年8・9月号に誤りがありました。ここに訂正し、お詫び申し上げます。
8月号 P33下段13行目 [正]「お金がなかったりして、全員が小学校に入学できるわけではない」
9月号 P4右下写真説明 [正]「1908年、~ブラジルのサントス港に着岸した...」
P7グラフ コーヒー豆の輸入総量 [正]「3億9,000万キロ」
P15本文2段目1行目 [正]「対策を進めている。またベルーでも...」